

議会報告会 会場報告書

担当班： 2 班 班代表者： 園田依子

概要			
地区名 : 雲部地区	【出席議員】		挨拶・総括 : 園田依子
日時 : 平成26年5月16日 (金) 19:30~21:00	園田依子	(1) 開会あいさつ : 園田依子	司会進行 : 恒田正美
場所 : 雲部公民館	恒田正美	(2) 議会報告 : 大上磯松	報告 : 大上磯松
参加人数 : 11人(男 11人・女 0人)	林 茂	(3) 質疑応答 : 下記参照	受付・記録 : 吉田浩明
	小島政行	(4) 意見・提言等 : 下記参照	林 茂
	吉田浩明	(5) 閉会あいさつ : 林 茂	会場 (マイク) : 小島政行
	大上磯松		

【主な質疑】

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 「篠山市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」に関し、空き家のままの方が固定資産税は安いと聞く。今後も空き家が増加していくと考えるが、何とかならないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税について、何とかならないかとの意見も聞く中、確定には至っていません。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 「篠山市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」に関し、適正管理に向けた支援策について、どのような取り組みを考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正管理については、最終的には強制執行まで考えています。その他、有効活用に向けては、情報提供の奨励金支給等を考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 「篠山市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」に関し、旧雲部小学校の教室を使いたいが、居住する家がないとの話もあった。空き家を借りることは難しい中、改修するにしても誰の責任において行うのが難しいと思われる中、よい方法はないものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家については、貸すためには改修費用がかかること、及び益や正月は帰ってくる等の理由から賃借がなかなか進まない実態があります。空き家になって5~10年が経過すると水回りの改修等、多額に費用が生じることもあり、改修費用補助等、流動性の高まる施策が必要であると考えています。今後、議会で検討します。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業」に関し、保育料の減免について、人数的な効果は出ているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果はすぐに出るものではない中、人数については、事業効果との因果関係の把握は難しいが、それも含めた効果を本年度に検証の上、今後の取り組みを考えていくこととなっています。
<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業」に関し、市の取り組みについて市の西部で高く、東部が低いとの感が強いと感じる。学校の統廃合や限界集落化への対応等、課題も多く、議会としても協力に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少については危惧しています。国全体も少子化の流れではありますが、字レベルの人口動態も掴みながら、取り組んでいければと考えています。今後、議会で検討します。
<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業」に関し、地域から若い女性が減っているとの新聞報道もある中、本市においても同様の事象が起きていると感じている。住もう帰ろう運動だけでなく、少子高齢化と併せて、人口流出への対策も調査・研究いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化が進む中、若い女性にもとどまってもらえるように取り組んでいきます。今後、議会で検討します。
<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業」に関し、効果が見えない中、3月補正で予算を減額されているが、有効活用をしっかりと考えていくべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の遠距離通学支援補助について、当初90人見込みが実態として56人となったことが主な要因です。有効活用については、注視するとともに検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 「企業誘致促進費」に関し、篠山のすばらしい環境を生かしたITやSOHO等の新規開拓が必要であると考え。定住促進+企業誘致の視点が必要であると考え。 	<ul style="list-style-type: none"> 誘致については、当然、どんな企業でもよい訳ではなく、篠山の食を活かした企業に対する支援が必要であると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> 3月補正予算で「企業誘致促進費」が減額されている理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業支援補助金として計上しているが、補助要件に合致するものは1件であったことから減額となりました。補助制度を創設しても、なかなか効果があがらないのが実態です。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 「篠山市子どものいじめの防止等に関する条例」に関し、重篤な事例については審議会を設置することとなっているが、本市においては、外部委員や有識者を招く場合の報酬があまりにも低い。市の改革を進めていくためには、有識者や外部委員の意見も必要であり、議会としても方向性の提案等を含め、声をあげていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の意見を聞くのは大切なことです。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 火災が頻発している中、消防団が消火に駆け付けた際管外の団員は費用負担の面から帰らせることもあると聞く。本当であるならば、市民の命を守る活動において、経費を天秤にかける事は問題であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> もし事実であるならば由々しきことです。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 昨年の災害復旧の進捗状況は分かるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資材不足や人材不足等もあり、入札不調もあったが、担当部署からは3月末を目途に取り組むと聞いています。進捗状況については、対象自治会に報告していると聞いているが、報告されていない地域があるならば、執行者に伝え対応を求めます。
<ul style="list-style-type: none"> 市長及び県民局長、県会議員宛に国道372号線の飛曾山峠の改修及び川西篠山線の新トンネルの整備要望を提出している。京都府との連携や災害時のバイパスの必要性も見据え、兵庫県の社会基盤整備プログラムに載っていないと取り組まれないと聞くが、継続要望していきたい。市議会ですべて知っておられないようであれば、コピーを提出させていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 市においては都市計画マスタープランや土地利用計画を策定しようとしていますが、広域連携を含めた基盤整備の視点も必要であると考えています。執行者に地域から要望があったことを伝えるとともに、議会においても共有させていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> 泉地内の県道（泉八上新線）の歩道設置工事について、般若寺側は広いが、泉側は狭い状況になっている（県道篠山京丹波線）。整備には地積調査が必要であると聞いていたが、それも完了している中、現在の状況を教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当部署からは、県道篠山京丹波線の工事計画は休止中で、現在は泉八上新線の工事に振り替えて実施しているとの回答がありました。